

小学校 授業を振り返る視点

平成26年度 多治見市研究主任会

指導過程	レベル	小見出し	内容
1 課題化	1	課題づくりの基本	黒板に書いて位置づけている
	2		必ず課題を黒板に書き、赤色で囲むようにしている
	3		ノートにいてねいに課題が書けるように声かけをしている
	4		1単位時間の中で、できるだけ早い時間に課題を提示している
	5	必然性のある課題づくり	単元を貫く課題に基づき本時のねらいにせまる課題をつくっている
	6		必然性のある学習課題になるようにしている
	7		できる限り、児童の言葉をひろい、正しい言葉で課題づくりを行っている
2 机間指導・個別指導	1	声かけの方法	支援が必要な児童を中心に机間指導している
	2		できる限り多くの児童に声をかけ、認めるようにしている
	3		レディネステストをもとにつまずきを予想して机間指導指導している
	4		赤ペンでよい意見に丸をつけている
	5	個別指導	よく理解できていない、考えが深まらない児童に対して、個別で指導にあたるようにしている
	6		(机列表を持って)実態把握に努め、それを意図的指名等に生かしている
3 全体交流	1	児童への基礎的指導内容	全員挙手・グループ交流で全員が話す場の設定している
			話し方・聞き方の段階表などを活用して指導している
			ハンドサインを活用した挙手発言を指導している
	2	児童の発言	質問・疑問、反対意見など自分の立場をはっきりさせて発言させている
3	価値付け	意図的に児童の意見を価値付けている	
4 評価	1	自己評価	児童の習熟を把握する評価問題を出している
	2		授業の終末、理解不十分な児童への指導をしている

5 時間配分	1	時間配分	授業を時間内におさめている
	2	個人差への対応	早く終わった子への指示を出している
	3	終末の時間	まとめや振り返りの時間の確保している
6 板書	1	構造的な板書	まとめは青で囲んでいる
	2		ていねいで正しい文字で書いている
	3		児童の思考や授業の流れが分かるように書いている

7 指導計画	1	意図性のある指導計画	個のつまずきに応じる具体的な指導の内容や方法を明らかにしている
	2		ねらいにせまる言語活動を充実させる
	3		系統性にもとづいて「学び直す内容」や「繰り返す内容」を明らかにして位置づける